

## 〈活動報告書〉

2018年 1 月 9 日

遠征名/合宿名：

2018NAVI ミニムオーストラリアキャンプおよび遠征

報告者氏名： 上津 孝光

所属・役職： 団長

派遣期間： 2018年11月29日～2018年12月8日

遠征地： オーストラリア国シドニー市

参加大会： Koala Mini Challenge (個人戦) 2017Friendship Cup Teams (団体戦)

参加選手： エペ (女子)

篠島 優衣 東京OHMEフェンシングクラブ

堀本 菜帆 大阪読売千里Fクラブ

岩橋 英莉花 ワセダクラブ

エペ (男子)

林川 琉偉 板橋フェンシングクラブ

清水 康貴 柿の木台スケルマ

申 濬 ワセダクラブ

サーブル (女子)

周藤 美月 松江フェンシングクラブ

市ヶ谷 奈々 香川Jrフェンシングクラブ

岡田 彩良 BDP NFC

引率： 団長 兼 コーチ

上津 孝光 日本フェンシング協会 (港区フェンシング協会)

コーチ

成田 遼介 日本フェンシング協会

総務

長尾 友紀 旅の匠

活動日	活動時間 (出退勤時刻)			休憩時間	実労働時間	活動場所	活動内容 (作業・役割)
11月29日	20:00			-	-	羽田空港 (国際線ターミナル)	羽田空港集合～結団式
	22:20	～	翌9:45	-	-	-	初日移動日 (羽田空港発: NH880便)
11月30日	09:45	～	12:00	-	-	シドニー空港	シドニー空港着。専用中型バス2台でホテルへ移動
	12:00	～	14:00	-	-	Adina Apartment Hotel Sydney Airport	ホテル到着後、チェックインまで時間あったためホテル近辺で昼食。 昼食後ホテルチェックイン。
	16:00	～	20:00	0.5時間	3.5時間	NSW Fencing Center	フェンシング練習
	20:00	～	21:00	-	-	-	夕食
12月1日	07:00	～	08:30	-	0.5時間	Lionel Bowen Park	起床後、ホテル近くの公園まで散歩し体操。ホテルに戻った後朝食。
	16:00	～	20:00	0.5時間	3.5時間	NSW Fencing Center	フェンシング練習
	20:00	～	21:00	-	-	-	夕食
12月2日	07:00	～	08:30	-	0.5時間	Lionel Bowen Park	起床後、ホテル近くの公園まで散歩し体操。ホテルに戻った後朝食。
	09:00	～	13:00	-	-	シドニー市内	市内観光 (昼食込)
	14:00	～	17:00	0.5時間	3.5時間	Mosman Fencing Academy	フェンシング練習

	18:00	～	19:00	-	-	-	夕食
12月3日	07:00	～	08:30	-	0.5時間	Lionel Bowen Park	起床後、ホテル近くの公園まで散歩し体操。ホテルに戻った後朝食。
	09:00	～	14:00	-	-	シドニー市内	市内観光（昼食込）
	16:00	～	20:00	0.5時間	3.5時間	NSW Fencing Center	フェンシング練習
	20:00	～	21:00	-	-	-	夕食
12月4日	07:00	～	08:30	-	0.5時間	Lionel Bowen Park	起床後、ホテル近くの公園まで散歩し体操。ホテルに戻った後朝食。
	16:00	～	19:00	0.5時間	3.0時間	NSW Fencing Center	フェンシング練習
	19:00	～	20:00	-	-	-	夕食
12月5日	07:00	～	09:00	-	-	-	起床、朝食後試合会場へ移動。
	09:00	～	18:00	-	-	NSW Fencing Center	Koala Mini Challenge（個人戦） U14男女サーブル / U12男女サーブル U14男女エペ / U12男女エペ
				-	-		【U14男子エペ 結果】 3位：清水 康貴 7位：申 濬 10位：林川 琉偉
				-	-		【U12男子エペ 結果】 1位：清水 康貴 2位：林川 琉偉 3位：申 濬
				-	-		【U14男子サーブル 結果】 3位：長谷川 力玖 3位：河原 資起 8位：菅原 史晴
				-	-		【U12男子サーブル 結果】 2位：河原 資起 3位：長谷川 力玖 3位：菅原 史晴
				-	-		【U14女子エペ 結果】 3位：堀本 菜帆 3位：篠島 優衣 9位：岩橋 英莉花
				-	-		【U12女子エペ 結果】 1位：篠島 優衣 2位：堀本 菜帆 3位：岩橋 英莉花
				-	-		【U14女子サーブル 結果】 3位：市ヶ谷 奈々 3位：周藤 美月 6位：岡田 彩良
				-	-		【U12女子サーブル 結果】 1位：周藤 美月 3位：市ヶ谷 奈々 5位：岡田 彩良
	19:00	～	20:00	-	-	-	夕食
12月6日	07:00	～	09:00	-	-	-	起床、朝食後試合会場へ移動。
	09:00	～	18:00	-	-		Friendship Cup Teams（団体戦） U14男女サーブル / U12男女サーブル U14男女エペ / U13男女エペ
				-	-		【U14男子エペ 結果】 2位：日本
				-	-		【U12男子エペ 結果】 1位：日本
				-	-		【U14男子サーブル 結果】 2位：日本
				-	-		【U12男子サーブル 結果】 1位：日本
				-	-		【U14女子エペ 結果】 1位：日本
				-	-		【U12女子エペ 結果】 1位：日本
				-	-		【U14女子サーブル 結果】 2位：日本
				-	-		【U12女子サーブル 結果】 1位：日本
	19:00	～	20:00	-	-	-	夕食
12月7日	07:00	～	08:00	-	-		起床後朝食。
	10:00	～	16:00	-	-		チェックアウト後、荷物はホテルに預けて観光へ。

	18:00	～	19:00	-	-	シドニー空港	ホテルに戻り荷物受け取り後、事前予約ワゴン2台にて空港へ。
	21:30	～	翌5:05	-	-	シドニー空港	シドニー空港発 (NH880便)
12月8日	05:05	～		-	-	羽田空港 (国際線ターミナル)	羽田空港着～解散式

備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場アクセスについて NSW Fencing Center ホテルから徒歩圏内（10分程度）でありバスや電車を利用する必要がなく、選手の負担も少なく移動できた（荷物も体育館に置かせてもらえたためほぼ貴重品や洗濯物のみの運搬移動）。但し、徒歩の場合、日や時間帯によっては暑さや日差し対策が必須。 Mosman Fencing Academy 5日目のみホテルから小型バスで移動（30分～40分程度）。チャーターした車両が古く、また路面状況の悪さから突き上げが多く、ドライバーの運転も荒いことから車内環境は非常に悪かったため車酔いとなった者が続出、選手の体調維持や安全面を鑑みると再考の余地あり。</li> <li>・食事について 個人特有のアレルギーや好き嫌いの幅があり、現地での飲食店選びに苦労した。事前に選手のご家族に対してのヒアリングと現地飲食店の調査が必要。</li> <li>・試合について 試合結果記載の通り、日本選手団が上位を独占している。特にU-12エペに関してはオーストラリアの選手層が薄くかつ選手人数が少ない傾向があり、個人戦は1位～3位独占、団体戦も優勝とサーブルより顕著に結果の差が出た。</li> <li>・選手について 全国大会の上位者ということもありレベルも高く指導やアドバイスに対する反応も一般的な小学生の域を超えていたと感じる。エペやサーブルに特化している選手もいたが、大部分はフルーレと並行しており、専門的な技術レベルはフルーレの延長線上という選手が多く見受けられた。日本における若年層からのエペ・サーブルの指導および普及を期待したい。</li> <li>・観光について 前回選手団参加コーチよりOpalカードを貸し出しいただいていたため、デポジットの対応こそあれど他は非常にスムーズに電車移動できた。観光場所についても食事面同様、事前にある程度選手の意向も聞き、あらかじめ決めておく方が良かったと感じた。</li> <li>・総務について コーチが2名とも男性ということもあり、女性総務である長尾様には非常にご負担をお掛けした。女子選手への細やかな対応や男子選手も含めコーチには直接相談しづらい事柄への受け皿となっただき大変感謝している。またホテルとの交渉、食事面への気配り、観光時の対応など長尾様がいなければこの遠征は成り立たなかったと言っても過言ではない。</li> <li>・コーチについて 2名とも普段より低年齢層の指導をしているコーチだったため、初顔合わせの選手に対しても一定レベルのコーチングは提供できたと感じる。選手層が全国に広がっているため難しいが、欲を言えば事前にJissでの練習会などあれば選手のモチベーションも高まるし、コーチとしても選手個々のレベルやキャラクターを理解した上でのより詳細な指導ができた。</li> <li>・現地協会、選手との交流について 練習時および試合時のフェンシングを通じた交流に終始したため、一緒に食事を共にするなどフェンシング以外のコミュニケーションを設けられればより良かった。</li> <li>・選手のご家族との連絡について 選手個々人もスマートフォンでご家族と連絡しあっていたし、事前にSNSでのコーチとご家族用のグループを作成していたので、日々の活動などの共有はとてもスムーズで安心感を与えられたと感じる。</li> </ul>
----	---

担当者